



特定非営利活動法人こぐまくらぶでは 就労継続支援B型、生活介護事業、グループホーム、計画相談支援、企業主導型保育園、児童発達支援、放課後等デイサービスを行っています。

ご挨拶

2025年の年が明け、あっという間に4月を迎えようとしています。

世の中では色々なことが起こっていますね。ですが、こぐまくらぶでは、課題を少しずつ乗り越えながら、利用者様や職員とともに、明るくて笑顔の多い事業所を目指していきたくと思っています。私も皆に負けないように、明るく元気に過ごしていきたいと思っています。



理事長 松本 将八

KOGUMA NEWS

こぐまくらぶ創立22周年

2024年11月11日、おかげさまで、こぐまくらぶ創立22周年を迎えました！

今年も大蔵海岸ZAZAZAにて全事業所合同で周年記念パーティーを開催することができました。



職員の家族の参加もあり、子どもたちもたくさん参加してくれました。BBQを楽しみながら、会話を交わし、職員同士の良いコミュニケーションの場にもなりました。

これからの新しい1年、職員一同、利用者さまや、皆さまにとって必要な支援を提供できるよう、支えてくださる皆さまへの感謝も忘れない法人であり続けられるよう、頑張っまいります！

事業所見学会を開催しました



2025年1月27日・2月19日に事業所見学会を開催しました。今回は就労継続支援B型事業所の舞子坂事業所とパティスリーマイコザカ、生活介護事業所である舞子事業所の3か所を周り、実際に利用者さんの様子も見ていただきました。就Bの事業所を考えていた方も、生活介護の日々の活動の様子をご覧になって、魅力的だと感じてくださっていました。見学会を通して直接見て、感じていただくことの大事さを感じました。そして、こぐまくらぶの職員の明るさ・丁寧さを感じていただくことができた良い機会となりました。

新事業所開設とお引越し

『えくぼ』のきょうだい事業所として、重症心身障がい児対応型児童発達支援事業所『ほっぺ』を4月に開設します！！定員は7名です。

- 所在地：明石市朝霧南町3-1-35-101 (旧こぐまくらぶ朝霧事業所)

長らく朝霧に拠点を構えていた朝霧事業所が、舞子事業所へお引越しをしました。4月からは新たな舞子事業所として、定員を30名に増やしてスタートします。10月以降には、森友Ⅲも定員6・7名で新たに開設予定です！！



こぐまくらぶ計画相談支援事業所

(管理者: 中山)



こぐまクラブの計画相談支援事業所は、障がいをお持ちの方が安心して自立した生活を送るためのお手伝いをしています。資格を持った相談員が、ご本人やご家族のお話をじっくりと伺い、その方に合った福祉サービスや生活サポートの計画を一緒に考えます。相談の場は、リラックスした雰囲気、日々の困りごとや将来の夢についても気軽にお話しできる環境が整っています。また、サービス等利用計画は定期的に見直され、その時々状況やご希望に合わせて柔軟に対応していくので、長く安心してサポートを受けられるのが魅力です。



こぐまホーム (管理者: 吉田)



こぐまホームは福祉サービスの「グループホーム(共同生活援助)」のことで、食事や掃除、洗濯など日常生活に必要なことを職員のサポートを受けながら、地域の中で生活をしていく場所です。こぐまホームは、現在、グループホームが5ヶ所とサテライト型グループホームが3ヶ所あり、定員は合わせて20名となっております。

こぐまホームで生活されている利用者様の中には自立を目指されている方や、ひとり暮らしをされる中で年齢を重ね、グループホームで安心して生活したいと入所される方もおられます。グループホームの職員は、利用者様の生活のサポートとして、食事や家事以外にも、困りごとの相談を聞いたり、服薬管理や金銭管理が必要な場合に支援を行ったりしています。

また、こぐまホームではレクリエーションとして、日帰り旅行やBBQ、誕生日会、季節ごとのイベント等も定期的に行っております。利用者さんも毎回楽しみにされており、積極的に参加されています。



避難訓練



毎年恒例のバーベキュー



ホーム内観(第2ホーム)



クリスマスパーティー



食事の準備中



えくぼは、個々の状態に合わせた個別プログラムと少人数のグループでのプログラムを行っています。日々の活動としては、ボール運動、お買い物外出、理学療法士さんによるリハビリ、その他リラックスタイムとしてアロママッサージ、足湯などを行っています。音楽の才能あふれる職員たちと一緒にミニコンサートを開催し、音楽鑑賞やハーブなどの楽器に触れたりする機会もあります。

季節のイベント行事では、夏にはプール遊びや夏祭り、ハロウィンやクリスマス会等も行います。また、年度末には、個別支援計画に基づいた個別支援プログラムで1年間取り組んだ、『朝の会でじっと座って参加する』、『スプーンを自力で持って食べられるようになる』など、『できるようになった』を発表する『えがおのかい』活動発表会も行っています。

秋から利用者さんと一緒に、えくぼで育てているイチゴの観察日記をつけています。先日そのイチゴを収穫した時には、嬉しそうな表情をされていました。日々の活動で『できた!』と一緒に喜んで、その経験を積み重ねることで自信につながるよう支援しています。皆さん日々様々な活動を通して楽しく過ごされています。



外観・内観



足湯でリラックス



お芋掘り



ハロウィン



一般社団法人 こぐまsecond (管理者: 浴田)



一般社団法人 こぐまsecond こぐまヘルパー事業所は、お陰様で2周年を迎えることができました。現在、利用者様の余暇活動、自力通所の練習、通院時のお手伝い、居室お掃除のお手伝い等の支援をさせていただいています。当事業所では毎年、「移動支援従業者養成研修」を開催しておりますので、ご興味のある方はぜひお声かけください! また、こぐまsecondのお店「ル・リアン」が2024年4月に明石市相生町にオープンし、こぐまらぶの「スイーツペア」「Little bear's kitchen」「パティスリーマイコザカ」で販売されているスイーツや手作り雑貨を販売しております。こぐまらぶ以外の事業所様の素敵な商品も各種取り扱いしております。「ル・リアン」は、こぐまらぶの利用者様の働く場として地域住民の方との「絆」を大切に笑顔で皆さまをお待ちしております!

利用者さまとの
嬉しかった
エピソード

- ・利用者様が「楽しかった! 次のガイドも楽しみ」と伝えてくださり嬉しかったです。
- ・利用者様の買い物の時、お金の計算や支払いができるようになり一緒に喜びました。
- ・訪問の時、利用者様が笑顔で迎えてくださり、ご家族様からは「いつも楽しみにしているのですよ」とお言葉をいただきヘルパー自身も元気をいただいています。
- ・「できることが増えていき、成長を喜んでいきます。」とご家族様のお言葉をいただきました。



通所練習



余暇活動への同行支援



ル・リアンのウィンドウアート



店頭のコッキー

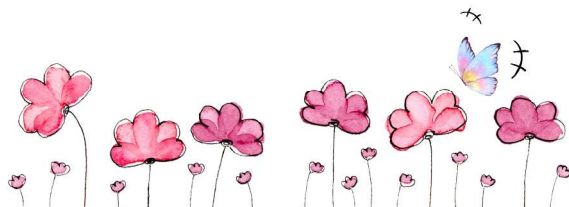


事業所空き状況&最高工賃

2025.4月以降予定

事業所	定員(名)	空き(名)						2024年度最高工賃(円)	
		月	火	水	木	金	土		
舞子	生活介護	30	4	7	8	4	5	13	9,689
森友1	生活介護	10	1	1	1	1	1	3	12,034
森友2	生活介護	10	1	1	1	1	1	3	12,034
森友3	生活介護	2025年10月以降に開設予定(定員6~7名)							
明石	生活介護	20	0	0	0	0	0	0	25,737
垂水	生活介護	20	1	1	1	1	1	12	9,919
舞子坂	就労B型	40	8	12	11	12	11	24	37,389
ウエスト	就労B型	20 (施設外 就労有 30)	4	4	3	4	2	15	70,752
えくぼ	児発・放デイ	7	1	1	1	1	1	-	-
ほっぺ	児発	2025年4月開設予定(重症心身障がい児対応型 定員7名)							

※グループホーム・サテライトもあります。
空き状況は変動しますので、お問い合わせください。
こぐまくらぶホームページでもご確認いただけます。



こぐまくらぶイベント出店・定期販売情報

定期販売

☀明石市役所での販売

とき: 毎週木曜日
場所: 明石市中崎1-5-1

☀ふれあいプラザあかし西での販売

とき: 月1・2回の水曜日
場所: 明石市二見町東二見1836-1

☀はっぴ〜にしNIKO SHOPでの出店

とき: 毎月1・2回
場所: 西区役所3階「こべや」

☀総合福祉センターでの販売

とき: 月2回の火曜日
場所: 明石市貴崎1-5-13

☀たるみアンテナショップでの出店

とき: 毎月1回
場所: レバンテ垂水2番館1階ロビー

☀Le Lien での販売

とき: 月~金曜日 11時~14時
場所: 明石市相生町2-1-2-101

☀玉津のつどい場 たまろっとマルシェでの出店

とき: 第1・3火曜日10時~
場所: 神戸市西区玉津庁舎1階



WHO-DAS2.0を利用した個別支援

※WHO-DAS2.0とは…WHOが開発した健康障がい評価シート

《こぐまくらぶでは利用者様の状態像を見える化して、できることを伸ばし、より良いサービスの提供に努めています。》

【Eさん(男性 就B・GH 知的・精神障がい)】

※GH…グループホーム

～GHでの生活、自分の気持ちを伝えてくださるように～

以前の様子

GHに入所される以前は、服薬管理や金銭管理が難しく、早朝や夜中等関係なく外出されていたようです。

職員の支援

GHに入所後は、通院同行し、主治医に現状の説明をすることで現在のご本人にあうよう薬の調整を行い主治医の指示通りに服薬の管理を行いました。

困った事があったとき、嫌なことがあったときは、職員に伝えてほしいと何度もお伝えしました。また、Eさんのお好きな音楽を聴きながら、一日の出来事やご自分の事など、いろんな気持ちを引き出すことができるよう、夕食後などに職員とコミュニケーションを楽しくする時間を作りました。

通所先と連携を行っているので、GHでは気づかなかった事の共有もあり、様子の変化に早く気づくことができ、時間を空けずにEさんの気持ちなどを聞くことが出来ました。

結果

服薬管理をすることで「夜は寝て朝はおきる」という生活のリズムが整い始め、少しずつ落ち着きが出て、会話がつながるようになってきています。

ゆっくりと時間を作り職員と話することで、嫌なことがあったら「～が嫌やった」などご自分の気持ちを伝えてくれたり、今日の出来事や次の日の予定を伝えてくださったりするようになりました。

今後も現在の支援を継続し、今以上にEさんとのコミュニケーションを取りたいと思います。

WHO-DAS2.0 領域別スコア

